

山形



ゴルフと仕事の関係

山形県屋外広告美術協同組合

理事 渡部 芳久
(株式会社ワタベ工芸)

幼い頃からゴルフを習いジュニアゴルフ競技会に参戦していた我が子供達は、現在、長女は23歳となり東京都内でゴルフのティーチングを仕事とし、長男は20歳となり大学のゴルフ部で競技ゴルフをしています。

子供達が小中生だった頃は、ジュニアゴルフ仲間の父兄達とジュニアゴルフスクールを運営し週1回の基礎体力トレーニング・週2回のゴルフ練習場での打球練習、土曜日には、地元にあるHONMAゴルフ様からグリーン・バンカーまである新製品開発用の試打場をお借りし練習させていただきました。

そんな影響もあり子供たちが巣立った現在もシーズンとなれば毎日の早朝練習、休日には、仕事を通した仲間達とのラウンドが私のルーティーンとなっております。

また、SNSを利用しゴルフを趣味とする経営者仲間のグループを作りゴルフメンバーのマッチングを可能にして親睦を深めています。



ゴルフは社交の場としても有効で、普段では接点がないような人と繋がり、時にビジネスチャンスを得ることもあります。

さて、私的な思いではありませんが、ゴルフが上手い人には仕事ができる人が多い印象があり仕事とゴルフには通じるものがあるような気がします。

まず思いつくのが礼儀作法・周囲への気遣いです。

ゴルフは紳士淑女のスポーツとされるゴルフの実力よりもゴルフアーマーとしてのマナーが重視されることからプレーを通してマナーや周囲への気遣いが自然と身につきます。

つぎに、ゴルフのプレーは全て自己責任

任という考え方があり、どうしたら上手

手くいくのか、失敗を最小限に抑えることが出来るのか、常に自分と会話しながら工夫をこらしてコースを攻略しなければならぬ事でセルフマネジメントが身につきます。このことは、ビジネスにおいても共通する重要なスキルだと言えます。

ゴルフの上達は、ただやみくもにスイング練習してもなかなか上達しません。上達には、目標に向かって基本を忘

れず二つ三つ技術を高めていく努力をすることが大切です。

事務局便り

令和4年度は総会、パネル展、レクリエーションなどひと通りの行事を行うことが出来ました。

また、やまがた広告景観コンテスト実行委員会主催の「第10回やまがた広告景観コンテスト」の表彰式をタウンミーティングと同時開催し、これまでより二歩前進したタウンミーティングになったと思います。

まだまだコロナはおさまりませんが、今年度も気をつけながら活動していきたいと思っております。今年もよろしくお祈りいたします。

事務局員 中川 順子

令和5年度 普通課程 宮城県立
入学案内 仙台高等技術専門校

やってみたら、おもしろい
SENDAI
この手の先に未来が見える
NO SKILLS, NO LIFE!
技能のない人生なんて...!

サインデザイン科
YouTube 紹介動画

しかし、努力してもなかなか結果に結びつかない。でも努力してものにした技術と経験は確実に積み重なって、ある日突然に、その効果が結果に表れる時が来る。

仕事においても目標の達成のために何か仕組みを変えた場合、結果が出るまでにはどうしてもタイムラグがあります。

目の前の結果が欲しくてではなく未来を見据えて、積み上げて行くことが大切であることこういうことが、ゴルフがビジネスや経営に似ているところなんです。

体力づくり、リフレッシュ出来ることも、仕事において元氣よく効率的に働ける為には大切なこと。

ビジネスパーソンの趣味として今後、ゴルフに興味を持つことがあったならばまずは打ちっぱなしから始めてみればいかがでしょうか。